

第 1844 回例会報告

令和 6 年 10 月 10 日(木)晴



◇会長告知◇

会長 太田 淳也

皆さん、こんにちは。厳しかった酷暑がようやく終わりを告げようとしております。気がつけば今年もあと 80 日あまりとなり、私も先月末に 56 才となり、つくづく年齢を重ねるにつけ、月日が経つ早さを実感し、一日一日を充実して過ごせるように努めてまいりたいと感じております。

今日は青少年奉仕委員会担当の

「つつじヶ丘学園」の先生方をお迎えての例会です。

私も大学生の息子と高校生の娘の 2 人の子供を持つ父親であります、

自分は仕事ばかりで家に居る時間が少ないので、母親である妻からは「うちは、母子家庭だから。」と冗談なのか本気なのか？常に言われ続けている家庭であります。学生である子供が学校に登校する事は、父親の私にとっては当たり前の事だと思っておりましたが、今年の5月中旬頃から、高校生の娘が突然、学校に行かなくなってしまいました。思春期真っ只中の娘ですので、父親の私とは、なんとなく距離を置くような感じで、普段からあまり話しをしてこなかったため、父親として殆ど何も出来ずにいました。母親である妻から様子を聞いて、私自身の出来る事をしなくてはと思い、お医者さんである幹事の小笠原先生に相談をさせて頂き、とあるお医者さんに通院する事となりました。

お陰様で、娘の方は 9 月の夏休み明けから学校に登校出来るようになりました。母親である妻も 8 月に 1 ヶ月程入院した事もあり、炊事・洗濯などの家事を娘が殆ど全てをしてくれて、とても助かりましたが、娘自身も母親の入院がきっかけとなり、何か気持ちが変わったのではないかと思います。幹事の小笠原先生には、あの時相談させて頂き、アドバイスをくださり感謝しています。

今振り返ってみても、父親としての無力さを痛感しております。今日は様々な事情を抱えてる子供さんたちを受け入れてくださる「つつじヶ丘学園」のプロの先生方のお話し聴かせて頂けることになりました。是非とも今後の子育てに参考にさせて頂きたいと思っております。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

◇幹事報告◇ 幹事 小笠原 仁

【連絡事項】

1. 本日、成山委員長はセブ島に出張で欠席ですが、本日と来週の例会で、音楽会のための募金箱を回させていただきます。御協力をお願い致します。

【受領文書】第 35 回 RYLA 開催の御礼

【出席報告とニコボックス】

出席報告		ニコニコボックス	
		利用人数	今回の金額
会員数	31 人	10 人	14,000 円
出席対象	29 人		
出席者数	18 人	前回累計	279,000 円
出席率	62.1%	累計	293,000 円
前回修正出席数	人	目標額	60万円
前回修正出席率	%	達成率	48.8%



今日は、つつじヶ丘学園の矢島様、児童家庭支援センター副センター長の片桐様、当クラブにお越し頂きまして、ありがとうございます。子供たちのために常に尽力して下さる大切なお仕事だと思います。ご苦労もたくさんあるかと思いますが、引き続きご活躍をお祈り致します。本日は、よろしくお願い致します。

太田 淳也

本日はつつじヶ丘学園より矢島先生、片桐先生、当クラブにお越しいただきありがとうございます。日頃より子供達のために頑張っている先生達には頭が下がります。本日は、40 周年の記念事業として布団一式贈呈します。子供たちのためにお使い下さい。本日はよろしくお祈り致します。

小口 直久

つつじヶ丘学園、片桐さん、矢島さん、本日はよろしくお祈り致します。

五味 弾

片桐様、矢島様、本日はようこそお越し下さいました。今後も宜しくお願い致します。

小笠原 仁

今日は、青少年奉仕委員会の担当例会です。つつじヶ丘学園 片桐沙織様、矢島慎也様 大変お忙しい中、お越しいただきありがとうございます。卓話を楽しみにしております。

北原 数也

今夜、北の空が赤く見えればそれはオーロラです。来週は夕方、西の空に彗星が見えるかも・・・

萩田 均

つつじヶ丘学園、園長補佐片桐さん、ユニットリーダー矢島さん、本日はよろしくお祈り致します。

宮坂 英貴



◇結婚記念祝◇



小口直久会員、蒲地整志会員、太田淳也会員、高林一紀会員、平山隆勇会員
(林洋三会員、近江誠一会員、三村昌暉会員、西澤賢二会員は欠席)

◇例会内容◇

青少年奉仕委員会担当例会

「つつじが丘学園の子供たちの近況について」

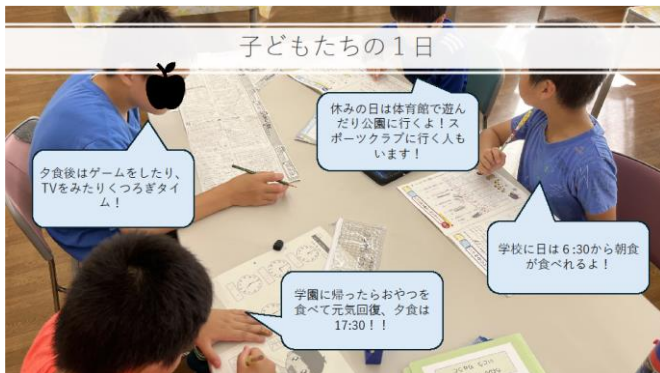
園長補佐 片桐 沙織様
ユニットリーダー 矢島 慎也様



40周年記念
おめでとうございます

諏訪湖ロータリークラブの皆様におかれまして、
日頃からつつじが丘学園に多大なるご支援をありがとうございます

昨年も、クリスマス例会に招待していただき、ありがとうございました。今年もあと数か月でクリスマスということで、子供達は、「次はいつクリスマス会があるのかな」と、とても楽しみにしております。機会がありましたら、またよろしく願い致します。



子どもたちの1日

夕食後はゲームをしたり、TVをみたりつるぎタイム!

休みの日は体育館で遊んだり公園に行くよ! スポーツクラブに行く人もいます!

学校に日は6:30から朝食が食べれるよ!

学園に帰ったらおやつを食べて元氣回復、夕食は17:30!!

色々な子供たちがいますが、学園一律ではなく、それぞれの過ごし方を尊重しています。ある男の子は、サッカークラブでゴールキーパーとして頑張っていて、最近大会で準優勝をしました。メダルをもらってきて、とても嬉しそうにみんなに見せていました。



子供達の希望を聞いて、色々な旅行に行っていて、今年は木崎湖のコテージに泊まりました。

4月から学園で生活している子もいて、「初めての旅行」など色々な「初めて」を経験できたと思います。遊びの中で様々な経験をすることで、将来立ちふさがる困難に立ち向かう、チャレンジする力になってほしいです。

自己肯定感の低さ

自己肯定感が高い子

自己肯定感が低い子



・「ありのままの自分を肯定する感覚」の事。他者と比較する事なく、自分自身が「今の自分」を認め尊重することで生まれる感覚であり、物事を前に進めるための原動力となる。

学園の子供達にどんなイメージをお持ちでしょうか。色々な子供たちがいますが、共通しているのは「自己肯定感の低さ」です。自信があるかないかで、困難に立ち向かえる力が違うと思います。

そこで、私たちは、「命・笑顔・育ち」という、治療的療育支援を行っています。主に虐待を受けていた、不適切な環境にいた子供たちが多く、自分を肯定してくれる経験がとても乏しいです。まずは、自分の命が大切である、暖かい部屋や毛布があるという経験がなければ、笑顔につながりません。

ミニバイト事業

長野県社会福祉協議会の事業

「児童養護施設の若者たちの厳しい養育環境に伴う生きづらさ、何らかの障がいを持っている若者たちを応援してするミニバイト事業」
*赤い羽根共同募金会への募金がミニバイト事業の応援金となる
*ミニバイトを受けて頂ける会社へ子どもたちが職場体験へ行く
*会社の代わりにミニバイト事業から子どもたちへお給料が支払われる。



子どもの働く体験の場(選択肢)のご協力をお願いします

最近、中高校生の入所が多いのが特徴です。措置入所は20歳までのため、自分の足元が不安定なまま就労に向けて進んでいく事は、困難な状況です。そのため、就労経験を積めるミニバイト事業はとても貴重です。ぜひ、ご協力いただける企業様は、宜しくお願い致します。



改めまして、40周年おめでとうございます。今回、子供たちの命を守るために必要だと思い、寝具のご寄付をお願いさせていただきました。安心して眠ることは、命と笑顔につながります。大切にに使わせていただきます。